

# CSR REPORT 2011

キーウェアソリューションズ株式会社 CSR報告書

IT can create it.



このたびの東日本大震災により犠牲になられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた皆様、そのご家族の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

このたびの震災で、あらためてICT(情報通信技術)の社会インフラとしての重要性を実感いたしました。私たちキーウェアグループは、社会インフラ企業の情報基盤構築をはじめ、携帯電話基地局の監視・制御システム、列車運行案内に関するネットワークシステム、交通管制システム、通信事業者や大手鉄道輸送会社向け収入・料金管理システム等、様々な社会インフラシステムの構築に携わっております。社会インフラがあたり前に機能する「日常」の維持に貢献すること。このことは、キーウェアグループが社会的役割として認識している「お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献すること」の基本であるとともに、ICTの重要な役割であり責務であると認識しております。キーウェアグループは、社会的な責任をあらためて認識し、今後も品質の向上、技術力の強化に取り組むことに加えて、企業として継続的な事業活動を行っていくために、コーポレート・ガバナンスの充実等、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

私は、2010年の3ヵ年中期経営計画発表時に、グループ社員に向け、「中期経営計画はCSR経営を前提として成り立つ」との考え方を説明いたしました。キーウェアグループ

が継続的に成長していくためには、各職場で日々の業務をこなす社員一人ひとりが、コンプライアンス(法令遵守)を重視し、高い意識と責任感を持って職務を遂行することに加えて、ステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、社会のニーズや変化に対応して、社会の皆様が求めるサービスを提供していくことが重要だと考えます。そのためにも、CSR経営を推進するとともに、社員一人ひとりへのCSR意識の浸透・定着に向けて取り組んでまいります。

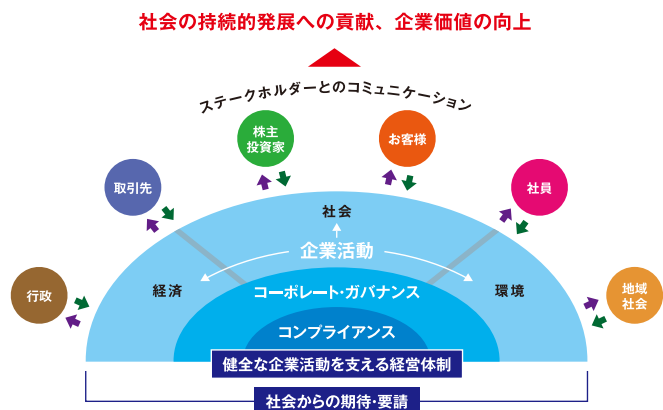
キーウェアグループはこれまで、45年以上にわたり実に多くの人々に支えられてまいりました。これからも、感謝の気持ちを忘れることなく、ICTを通じて便利で豊かな社会の発展に貢献してまいります。



代表取締役社長 **中島 哲二**

**CSRの考え方**

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



## ～ 便利で豊かな社会の実現に向けて～

キーウェアグループは、地域社会の ICT 利活用促進を支援するサービスの提供に取り組んでいます。

### 事例紹介① 埼玉県毛呂山町における教育情報化の環境構築 ～総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」～

2010年10月、総務省の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」が発足し、eラーニングに積極的な毛呂山町も採択されました。その中において、キーウェアソリューションズは毛呂山町における2つの小学校の3学年を対象に、iPad(アイパッド)と、インタラクティブ・ホワイトボードを整備し、児童と教師が相互に操作するソフトウェアやデジタル教材を活用した授業ができるシステムや、iPadでWindowsの教材コンテンツも利用できる仕組みを構築いたしました。モバイル環境下で動くものを見たり、変化するものを感じたりするeラーニングの学習法は、子供たちの「興味心」や「集中力」を引き出し、学習意欲の向上につながります。キーウェアグループは、これからもICTの利活用の取り組みを支援することで、人々の生活の利便性の向上、地域活性化等に貢献してまいります。



### 事例紹介② 世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業

世田谷区は、ひとり親家庭の仕事と子育ての両立をはかりやすい働き方である在宅就業を促進するため、在宅によるICT就業を希望される区内在住のひとり親家庭の母親・父親・寡婦に対して、在宅就業で必要になるICT知識と技術の習得訓練を実施し、就労を支援する事業を行っています。

キーウェアソリューションズは、受講生の募集をはじめ、シンクライアントソリューション(GO-Global)やクラウドサービスを活用した在宅による教育訓練プログラムの実施、ひとり親家庭が従事する在宅就業の発注者および仕事の開拓等、同事業に取り組んでいます。



説明会の様子



## 経営理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	<u>IT can create it.</u> クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

## 暮らしの中のキーウェア

私たちは、情報システム・サービスを通じて豊かで便利な社会の発展を支えています。

安心 安全 便利



私たちの身近なところで、  
キーウェアは  
活躍しているんだね。

 駅の改札で

 IC
 **駅改札におけるICカード利用など**

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務などのノウハウを有しています。

 sports news

 街中で

**野球・ゴルフ・大相撲などの  
スポーツ情報のニュース配信システム**

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。

 固定電話で、携帯電話で

**一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、  
パケット通信情報、顧客管理、料金管理など**

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センタに設置されている料金明細センタへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

 電話帳で

**大規模顧客データベース、顧客管理、  
広告販売、コールセンター業務**

電話帳掲載情報の核となるお客様情報システム、広告・販売支援システムなど、中核業務に関するシステムを開発しています。

 高速道路で

**交通情報ソリューション**

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。

 病院で

**オーダーリングシステム、電子カルテ、  
臨床検査システム、院内感染監視システム**

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。

## 宇宙で

### 衛星追跡管制・衛星関連データ処理 宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

## ホームで

### 駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。

## 銀行で

### 金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。

## 工場で

### ERPソリューション

生産管理を中心に人事管理、財務会計、購買管理といった各パッケージならびに広範囲の各機能を統合したテンプレートを基に基幹システムの導入を支援しています。

## 空港で

### 航空路管制システム

通信入出力DUAL(二重構造)制御やスポット管理全般の特殊なノウハウを駆使してシステムを開発しています。

## オフィスで

### 経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

### 情報セキュリティ

ハイブリッド・シンクライアントは、独自の高速プロトコルによりネットワーク負荷が低く、既存PCをそのまま活用でき、初期導入コストを劇的に低減することが可能。情報漏えい対策にも効果を発揮します。

## 自宅で

### ECサイト

健康サービスサイトの運営や、商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

### 在宅就業支援、テレワーク

シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

## 学校で

### ICT活用環境の構築

児童と教師が相互に操作するソフトウェアやデジタル教材を活用した授業ができるシステムや、iPad(アイパッド)でWindowsの教材コンテンツを利用できる仕組みを構築しています。

キーウェアグループは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

## コーポレート・ガバナンス

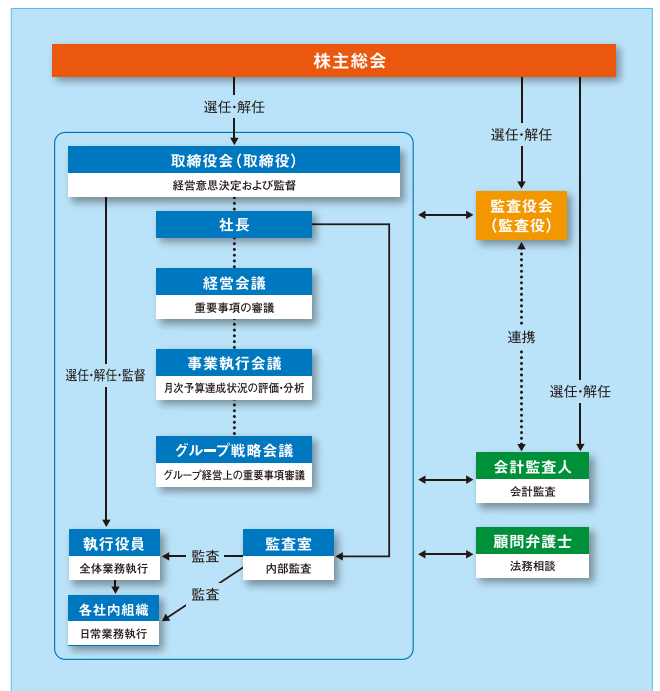
### 基本的な考え方・推進体制

キーウェアソリューションズでは、コーポレート・ガバナンスを、顧客、株主、従業員、取引先、地域社会等の様々な利害関係者と企業経営の基本的関係の構築と理解しています。これを踏まえ、当社は、「あらゆる企業活動において、当社の持つ社会的責任を深く自覚し、関係法令の遵守を徹底し、社会倫理に適合した行動を取ることが健全な発展のために不可欠である。」との基本的認識の下、企業価値の増大に努め、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に取り組んでいます。

**【取締役会】** 取締役会は、取締役7名（うち社外取締役1名）で構成されます。経営の基本的な方針と戦略の決定および業務執行の監督機関と位置づけています。

**【執行役員制度】** 業務執行に専念する責任者として執行役員9名を配置し、業務執行の迅速化をはかっています。

**【監査役会】** 監査役会は監査役4名（うち社外監査役2名）で構成されます。取締役会をはじめとする重要な会議への出席や業務および財産などの状況調査を行うことにより、取締役の職務執行を監視・監査しています。



コーポレート・ガバナンス体制（概略）

## コンプライアンス

### 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令および定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範の下にその職務を遂行するため、経営管理室においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同室を中心に教育等を実施しています。

### ● 内部通報制度

法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を事前に予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査の下、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

### ● コンプライアンスの啓発・教育の実施

社員のコンプライアンスの徹底をはかるため、全社員を対象として階層別研修やeラーニング等による教育を実施しています。2010年は、職場におけるセクシュアルハラスメントおよびパワーハラスメントの未然防止をテーマに集合研修を実施しました。

また、「社員行動規範カード」を全社員に配付し、社員のコンプライアンス意識の向上をはかっています。



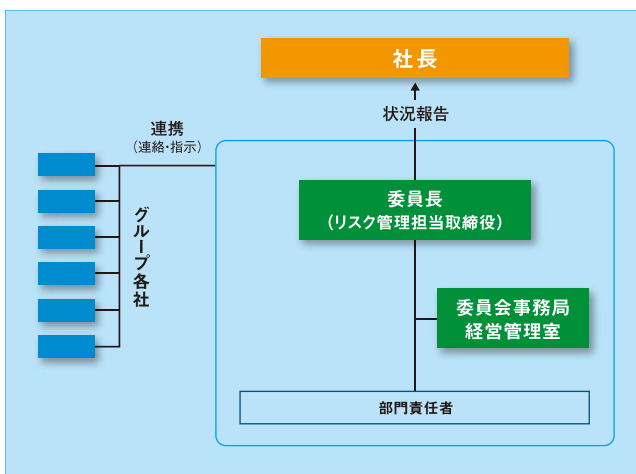
セクハラ・パワハラ防止研修



## リスクマネジメント

### 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病および会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより業務運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づきリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

### ● 大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合またはあうおそれのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品の整備、防災訓練などを実施しています。

八幡山事業所における防災訓練では、定期的に行っている通報訓練、消火訓練、避難訓練の他に、AED(自動体外式除細動器)の利用体験、起震車による直下型地震体験(マグニチュード7の揺れと防御体験)を行いました。2011年3月11日の東日本大地震の際には、避難経路の確保や落下物から身を守るための迅速な行動に結びつきました。新宿本社では、広域避難場所として指定されている新宿御苑まで実際に歩き、避難方法や避難経路、避難場所を確認する訓練を実施しました。



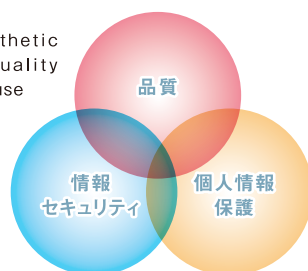
防災訓練の様子

## 品質・情報セキュリティ・個人情報保護

### 基本的な考え方

キーウェアグループでは、2005年度から、品質マネジメントシステム(QMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、および個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」の運用を行っています。

※ iSMASH: integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



### ● 品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証をグループ全社で取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけに留まらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップしていく活動を進めています。

### ● 情報セキュリティ

キーウェアグループでは、情報の適切な取り扱いを行うため、「情報セキュリティ遵守事項」を制定し、全社員および当社業務に関わるパートナー社員に対して情報セキュリティ教育を継続的に実施しています。また、ISMS認証を取得し、機密情報管理の徹底を行っています。

セキュリティ教育やセキュリティ施策の励行により、年々セキュリティ事故件数は減少しています。



### ● 個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分な配慮を行い、個人情報保護に努めています。また、キーウェアグループ(キーウェア九州を除く)の各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。



# 環境編

キーウェアグループでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現に貢献してまいります。また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

## 環境方針

### ① 環境に配慮した事業展開、機器などの購入や販売

製品の開発や提供に際して、省資源・省エネルギー、環境に配慮した製品やサービスの提供、環境保全に適合した機器などの購入や販売を行う。

### ③ 継続的活動と環境意識の向上

環境マネジメントシステムの運用により継続的改善に努める。また全従業員への意識向上のための環境教育や啓蒙に配慮する。

### ② 法令の遵守

環境関連の法律、規則や必要とする要求事項を遵守し、環境保全に努める。

### ④ 社会貢献

3R(リユース、リデュース、リサイクル)の徹底化により、個人も含めて社会や地域への貢献に努める。

改定日:2009年4月1日 / 制定日:2005年5月19日

キーウェアソリューションズ株式会社 代表取締役社長 中島 哲二

## 環境目標

環境目的	2010年度環境目標			2011年度環境目標
	目標	目標値	実績	
1 製品・サービスへの環境配慮	プロジェクトにおける納期管理の推進(業務効率を高めて、無駄な紙・ゴミ・電力の削減につなげる)	・納期遅延件数を前年度より削減	納期遅延率: 4.7% (14/300PJ) (前年度実績は、7.0%)	QCD(品質、コスト、納期)の確実な計画立案と厳守
2 環境意識向上への啓蒙・教育	各部門におけるエコ活動の検討と推進	・上期 業務特性を考慮したエコ活動の検討 ・下期 エコ活動の推進	上期に各部門にて自部門で実施するエコ活動について検討し、下期はそのエコ活動を推進した。エコ活動の推進をはかるために12月に環境月間を設定した。※P8 特筆すべき活動を参照	環境月間を継続して実施
3 オフィスへの環境配慮 3R活動の推進 ●リユース(再利用) ●リデュース(利用抑制) ●リサイクル(再生利用)	1 印刷用紙の消費量削減	・1人当たりの印刷用紙消費量を前年度より3%削減	1人当たり換算は3.9%増。ただし、前年度と比較して紙消費量は10.6%削減	本年度の目標とはしないが、継続して監視していく
	2 廃棄物量の削減、リサイクルの推進	・廃棄物量を前年度より3%削減 ・「保護(まもる)くん」等を活用し、リサイクル率を前年度より3%向上	前年度と比較して15.2%削減達成 前年度と比較して3%向上達成	本年度の目標とはしないが、継続して監視していく
	3 電力使用量の削減	・電力使用量を前年度より3%削減	前年度と比較して7.7%削減達成	電力消費の削減232kWh/m <sup>2</sup> 以下(前年度比13.6%減)

## 認証・表彰・外部評価

ISO14001認証

2005年からISO14001認証を取得



せたがやエコライフ推進事業所

ecoレベル2

日本経済新聞社 環境経営度調査

2010年度 通信・サービス部門 14位 / 情報サービス業 3位

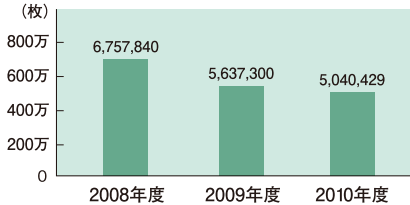




## 環境パフォーマンスの主な実績

### 紙使用量

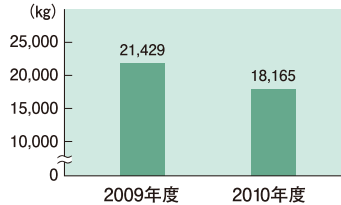
前年度比  
10.6%改善



2010年度から(株)クレヴァンシステムズも含めた計測

### 廃棄物量

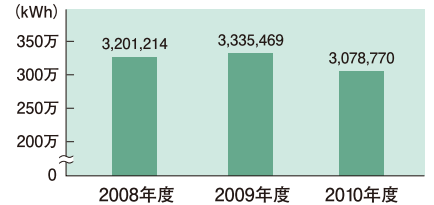
前年度比  
15.2%改善



八幡山事業所のみ計測

### 電力使用量

前年度比  
7.7%改善



2009年度から(株)クレヴァンシステムズも含めた計測

## 特筆すべき活動

### 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

- 全社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物業者・清掃業者等)に対し、周知文書依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者およびプロジェクトへの新規参加協力会社社員に対する教育を随時実施。



### 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。その結果を経営者に報告することで、遵法性評価のPDCA※を確実に展開しています。

※PDCA:P(Plan)・D(Do)・C(Check)・A(Action)という事業活動の「計画」「実施」「監視」「改善」サイクルを表す。

### 各部門でのエコ活動の推進

2010年度は、自部門で実施するエコ活動を上期に検討し、下期に実施いたしました。ノーエレベーターデーを設定し、その日は極力、階段を利用することをエコ活動とした部門、若手社員を中心に『エコ活動推進G』をつくり、自部門で決めたエコ活動を円滑に推進し、実施した部門もありました。エコ活動を通して、“エコ”に対する関心が高まりました。

### 消費電力15%削減に向けた取り組み

キーウェアグループでは、今夏の電力不足問題に対応するため、「電力不足対策ワーキンググループ」を発足させ、節電施策を立案・推進しています。

#### ① 空調稼働時間の短縮

9:00～17:30以外の時間帯での空調の停止(1日あたり本社で約17%、八幡山事業所で約20%の節電見込)。

#### ② 夏季休暇の一元化

従来の前半・後半選択の夏季休暇を一元化することにより、本社・八幡山事業所の未使用期間を設置。

### 保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2008年度	2009年度	2010年度
年間排出量	16,175kg	21,690kg	15,820kg
森林伐採抑制量	284本	309本	238本
CO <sub>2</sub> 排出抑制量	7,620kg	8,923kg	6,852kg

#### 保護(まもる)くんとは、

株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。また、カーボンオフセットサービス「保護くんZERO」があり、カーボンオフセットにも貢献しています。



#### ③ 各種節電施策の実施

従来実施している節電施策に加えて、執務室内の蛍光灯の間引き、ロビー・エレベーターホールの蛍光灯の間引き、エレベーター稼働頻度削減、エアタオルの使用禁止など。

#### ④ 消費電力の監視

1日あたりの消費電力量を日々測定し、全社員が閲覧できるポータルサイトで周知することによる消費電力の「見える化」を実施。

キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、様々なステークホルダーの皆様との関係を重視し、ともに成長・発展していくための取り組みを行っています。

## お客様とともに

### お客様満足度向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

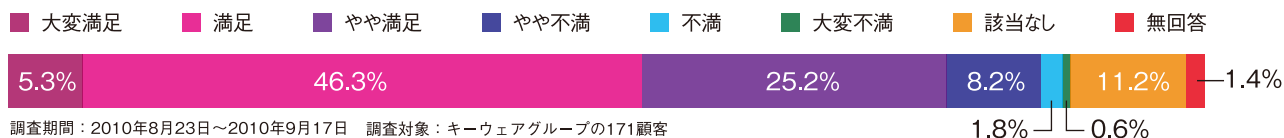
### お客様満足度アンケートを実施

キーウェアグループでは、定期的に主要顧客に対してお客様満足度アンケートを実施。アンケート結果を評価・分析することで、日頃の業務を見直し、さらにお客様にご満足いただけるよう、継続的に改善をはかっています。

### CS向上大会を開催

毎年1回、各部門の社員が参加し、CS向上大会を開催しています。2010年度は“CO2”[今こそ変革のチャンス! 自分を変えよう、キーウェアを変えよう!](Change Ourselves and then Change Our company!)をテーマに掲げ、お客様満足度向上、品質向上、サービス提案力向上等、様々な施策について発表を行っています。

### ●お客様満足度アンケート結果



調査期間：2010年8月23日～2010年9月17日 調査対象：キーウェアグループの171顧客  
 集計方法：全24項目に対して満足度を調査し平均値を集計

## 地域社会とともに

### 「せたがやエコライフ推進事業所」宣言

世田谷区では、区内の個人から企業までを対象に「せたがやエコライフ推進事業所」の宣言を求めており、一定の基準を満たした場合に確認証(ステッカー)を発行しています。キーウェアグループも区内に事業所を構える企業として、この「せたがやエコライフ推進事業所宣言」をはじめ、「世田谷みどりのトラスト基金」への協力を行っています。



### インターンシップの実施

学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。SEの仕事を理解していただくために、2010年は、当社の「交通広告システム」を用いて、実際にプロジェクトチームを組み、ケーススタディを交えながらお客様の問題解決をはかる体験をしていただきました。約20名の学生が参加し、「SEの仕事内容がより明確に理解できた。」「コミュニケーション能力やグループディスカッションの大切さに気づけて良かった。」などの感想をいただきました。

### 収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

#### ●エコキャップ運動

NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」にペットボトルキャップを集めて寄贈

#### ●使用済み切手の回収

国際協力NGO ジョイセフへの協力

#### ●不要カレンダーの寄贈

日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈



### 東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災により被災された皆様の支援や被災地の復興にお役にいただくため、キーウェアソリューションズおよびグループ会社に募金箱を設置し、役員・社員より義援金を募りました。集まった義援金は、社員一同として日本赤十字社を通じ、寄付いたしました。

また、2011年7月に宮城県仙台市で開催された「東北 六魂祭」に賛同し、ベネフィット・ワンふれあいコーナーに出展いたしました。今後も企業活動を通じ、復興のお役に立てるよう取り組んでまいります。





## 株主・投資家の皆様とともに

### 基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題のひとつとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

### 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時・正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」で定める情報およびそれに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズを理解していただくために有効な情報につきましても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

### 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアソリューションズの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、機関投資家向け決算説明会の様子や社長による決算説明を動画配信し、IRサイトの充実をはかっています。



機関投資家向け決算説明会



株主通信「KEYWARE TIMES」

## 社員とともに

### 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上をはかり、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系／ビジネス系／ヒューマン系の体系的な研修を提供します。そして、ITSSツールを用いてスキルアップ計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導・育成を実施しています。全ての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては一時金として資格取得奨励金を支給しています。

### ワークライフバランス～次世代育成支援の取り組み～

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全体が働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるよう、次のように3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の仕事と子育ての両立を推進する諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子・家族の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセリング窓口など)の周知徹底を行うとともに、利活用を促進します。
- 社員が家族との時間を大切にできるように、計画年休の日数を増やすとともに、年次休暇の取得しやすい風土・環境づくりを目指します。

#### 育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2009年	2010年	2011年
育児休業取得者	1人	3人	6人
育児時短勤務利用者	1人	1人	2人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

### 健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年には保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断所見)を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実をはかっています。

## 会社概要

**会社名** キーウェアソリューションズ株式会社  
**創 立** 1965年5月  
**資本金** 17億37百万円  
**売上高** 156億11百万円(2011年3月期・連結)  
**従 業 員 数** 1,204名(2011年3月末現在・連結)  
**上場証券取引所** 東京証券取引所市場第二部

**キーウェアグループ** キーウェアサービス株式会社  
キーウェアマネジメント株式会社  
キーウェア北海道株式会社  
キーウェア西日本株式会社  
キーウェア九州株式会社  
株式会社クレヴァシステムズ

## 編集方針

「キーウェアソリューションズ株式会社 CSR報告書2011」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様にも、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告させていただきます。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見や感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

## ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動(CSR)につきましては、ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>

## 報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています(キーウェアソリューションズ株式会社に限定される事象の報告については、本文中に明記しています)。

## 報告対象期間

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)  
※一部に2011年度以降の活動も含んでいます。

## 発行年月

2011年8月

## 表紙デザインについて

事業に関連したアイコンを、ひろがる・生まれる・可能性のある「未来」をイメージさせるシャボン玉に乗せ、キーウェアグループの事業内容そのものがCSR活動につながっていること、また、環境へ配慮した上で豊かな社会の実現を目指す企業姿勢を表しています。

**KEYWARE**  
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13(京王新宿追分ビル8F) 経営企画室 広報IR部  
TEL 03-5369-1118 FAX 03-5369-1119

<http://www.keyware.co.jp>